

平成31年度 佐賀市立三瀬小学校 学校評価計画

1 学校教育目標	2 本年度の重点目標
ふるさとを愛し自信と誇りを持ち、未来を拓く子どもの育成 「学び・こころをつなぐ小中一貫教育の実践」	①小中一貫教育の計画的推進 ②志を高める教育の推進 ③学力の向上(基礎・基本の充実)と自己教育力の育成 ④一人ひとりを大切にする教育の推進 ⑤豊かな心を育む教育の推進 ⑥健やかな体を育む教育の推進

重点目標を具体的に評価するための項目や指標を盛り込む。

3 目標・評価				
①小中一貫教育の計画的推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○小中共通理解	小中合同行事の充実	・「小中合同で行う縦割り活動や行事が楽しかった」という児童の割合を8割以上にする。	・朝の時間に「三瀬っ子タイム」(小中縦割りレク・読み聞かせ)を実施する。 ・行事後に各班ごとに振り返り、話し合い、感想を交流する。
②志を高める教育の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●志を高める教育	三瀬の地域・自然を通してふるさと体験・調べ活動	・ふるさと学習を通して、「三瀬を好き」と答える児童を9割以上にする。	・地域人材と連携した系統的なカリキュラム作成。 ・地域と関わる体験活動や、三瀬の歴史・文化・自然環境についての体験・調べ学習の設定。 ・三瀬村ふれあい祭り参加。
③学力の向上(基礎・基本の充実)と自己教育力の育成				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力の向上	基礎基本の定着	・「授業が分かった」と答える児童の割合を8割以上にする。 ・市販テストの学級平均が期待平均点を上回るようにする。	・電子黒板等ICT機器の積極的活用 ・「三瀬校スタンダード(学習のあたりまえ)」の全校取り組み。 ・朝、国算「スキルタイム」実施。 ・「三瀬っ子家庭学習の手引き」の活用。 ・家庭学習調査で、保護者連携。
		考えを伝え合う学びあいの場の充実	・三瀬校授業スタイルを基本とした授業改善を行う。 ・「自分の考えを書いたり、交流したりすることができた」児童の割合を8割以上にする。	・「三瀬校授業スタイル」を共有し、学習過程に沿った授業づくり。 ・自分の考えを持たせる「書く」活動と集団思考のための「話す・聞く」活動を関連づけた授業づくり。
④一人ひとりを大切にする教育の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○特別支援教育	必要な支援の充実	・「学習に集中できている」児童の割合を8割以上にする。	・教室の前面に、掲示物なし。 ・具体物提示と視覚支援(板書・メモ等) ・意識を向けさせてからの指示提示
	●いじめの問題への対応	いじめ・命を考える日の取り組みの充実	・月末、心のアンケートで、「子どもの様子で不安なことがなかった」と答える保護者9割以上、「いやなことや悲しかったことがなかった」と答える児童9割以上にする。	・月1回アンケート、即対応。 ・アンケート保管、子どもの変容把握。 ・教育相談週間の設定。
	●心の教育	人権教育の充実	・「困ったときに、誰かに相談でき、学校生活が安心だ」と答える児童の割合を8割以上にする。	・「ほかほかの木」(良いところ見つけ)を実施。 ・学期に1回、人権教室の実施。 ・異学年集団による毎朝の登校班やたてわり班活動を実施。
⑤豊かな心との推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	○道徳	道徳教育の充実	「道徳の授業で、進んで考えることができた」と答える児童の割合を8割以上、「道徳の授業によって豊かな心を育てている」と答える保護者の割合を8割以上にする。	・保護者に道徳の授業を参観してもらい、道徳の学習について共通理解を図る。 ・アンケートの実施。
	○生活習慣	基本的な生活習慣の定着	・「気持ちよくあいさつや返事ができる」「自分の持ち物を整理・整頓している」と答える児童の割合を8割以上にする。	・朝の全校あいさつ運動、帰りの会での引き出しチェックを毎日続ける。
⑥健やかな体を育む教育の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体づくり	望ましい食習慣	・「正しい姿勢で食事をした」という児童を7割以上にする。	・献立表の中で、家庭へ発信。 ・給食時に、委員会の児童が毎回「足ベタ、背筋ピン」の呼びかけ。 ・担当職員とリーダーが食事中に「足ベタ、ピン」の声かけ。
		健康管理・体力向上	・「1週間で60分以上(1週間に2回以上運動をした)」という児童を8割5分以上にする。	・水泳大会やなわとび大会、スポーツ対抗戦などの計画・立案。 ・各学級でみんなで遊ぶ日の設定。 ・朝の時間を活用して、縦割り班で「運動遊びの時間」を設定する。
			・身の回りの清潔に気をつけて「ハンカチ・ティッシュを持ってくる」「ツメを切っている」児童を9割以上にする。 ・「歯磨きをすすんでいる」児童を9割以上にする。	・生活チェックを毎週実施し、朝ご飯はんや身の回りの清潔の大切さについて呼びかける。 ・歯みがきがらぼう週間の実施。 ・担任と業護教諭TTで「性に関する教育」の実施。
⑦業務改善・教職員の働き方改革の推進				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	●業務改善・働き方改革の推進	効率を高める業務	・超過勤務45時間以内の割合を10割にする。 ・長期休業中を利用した教材研究・事務処理9割以上にする。	・毎週金曜日の定時退勤推奨。 ・長期休業中、「教材研究の日」設定。
本年度の重点				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策

●は共通評価項目のうち必須項目、○は独自評価項目